蟹猫物語

成年向ケ
ADULT ONLY

前回までのあらすじ

僕は
戦場ヶ原ひたぎと
付き合うことに
なった

そして
戦場ヶ原と
セックスして
セックスしまくって

いわゆる
ラブラブな
状態である

戦場ヶ原とは
良好な関係を
築いている

もはや
お互いが必要と
していることを
自覚している
からだろう…

それ以外に
大したことではないが

ファイアーシスターズと
セックスしたことがバレたり

羽川さんをおかずに
オナニーをしてたりと
多少の罪悪感を感じているが

キャア

阿良々木くん…

ああ…
そっか

これは阿良々木くんだけど
阿良々木くんじゃないんだ

また私の新しい妹が生まれて

阿良々木くんをそうさせているんだね…

私って最低

こんな形で実現させちゃってるんだ

私が気持ちを伝えられないから

チュル

チュル

チュル

あっ

あっ

ズリ

ズリ

クチッ

阿良々木くん
実は私ね…

今とっても
気持ちが
いいんだよ

はぁ

はぁ

だから阿良々木くんも
気持ちよくなって
くれてると嬉しいな

ズボッ

あぁ…

ハァハァ

ハァハァ

ハァハァ

…何故ヤらない？

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

イヤ

ダメ

ヤめて

ヤめて

阿良々木くん

はっ

阿良々木くん

どうしたのかしら？

えっ

あっ

いや

なんでもない

なんだったんだ今のは…

フラッシュバック？
いや…それは
実際にあった
過去を思い出す
ことだから違うな

ということは
いつもの妄想か…

ひょうとして
私とのデートが
つまらなかったかしら

まさか私のことが
飽きてしまって
どうやって別れようか
考えているんだとしたら…

阿良々木くんを
ここから突き落として
私も飛び降りてすべてを
忘れたいと思います

わー

やめろっ
やめてくれ

僕が悪かった！

変な妄想はしてたけど
別れるとか全然
考えてない！

あらそう…
ひょっとして
阿良々木くんが
妄想してたのは…

今日はどうやって
私とセックスしようか
考えていたのかしら

えっ!?

南西
SOUTH WEST
最高到達点
451.2m
633m

そうだよ
それっ!

では
誰もいない
ようだし…

私とここで
セックスを
しましょう

妄想といえば
こういう事を考えているのが
普通だと思っていたけれど…

違ったの
かしら?

えっ
マジで!?

そっ…
そうだよ
さすが戦場ヶ原
勘がいいなぁ

どうやら
戦場ヶ原の妄想レベルは
結構アブノーマルなとこまで
成長しているみたいだ

いやぁ
脳みその中まで
見られているみたいで
恥ずかしいよ

キス

ここでキスをするなんてロマンチックね

しかもチ●ポを さらけ出した変態と

ぐにゅ

ちゅっ

その変態のチ●ポをしゃぶってあげるメンヘル美女

は

たまたま誰もいなくてラッキー！

んんっ

くちゅ

阿良々木くんがいつもより息が荒いのは高い所で空気が薄いからかしら？

ん…うあっ…くっ…っん

ピクッ

レロレロ

いや…そういうわけじゃなくて

ちゅぱ ちゅぱ ちゅぱ

タワー…の入り…口には何千人もい…るようなところで

こん…な…ことしてたら…嫌でも興奮する…さ…んぐ

阿良々木くんのチ●ポをしゃぶりながら絶賛オナニー中よ

ジュポ ジュポ

ビクッ ビクッ

あんふっ…らふ…ら奇遇ね…

私も同じ理由で興奮しまくって

クチュ クチュ

ハー…
ハー…
カプッ
クスッ…
ネチョー
ふぉ
もう我慢できないのね
ぜぃぜぃ
いいのよ…私の口内に射精しなさい
レロレロ
レロレロ
レロレロ
あなたの精子は私が全部飲み干してあげる
レロ
戦場ヶ原のお口ピストンがめちゃくちゃ上手くなってる
ジュポジュポ
ジュポジュポ
ジュポジュポ

ビュルビュル

じっとしてて

ズボッ

ビュルルル

もう3日も
ご無沙汰してたのだから
まだまだ満足
できないんでしょう？

今回は特別に
お尻からの
「お●んこくぱぁ」を
魅せてあげるわ

こんな格好を
拝めるなんて

この先
一生ない
でしょう
から

その下劣な眼に
焼き付けなさい

ひたぎさん
大胆ッ!!

すぅぅ…

こんなところで
いきなりお尻をみせて
「おま●こくぱぁ」なんて
言うところが戦場ヶ原に
感心しつつも
歓心させられてしまう

戦場ケ原も
緊張しているのか
膣内がすごくきつい

ヒヤッ

すぁん

すぷすぷ

ぎゅぎゅ

うぉっ…

きゅ～ん♡

阿良々木くん…
挿入しただけで
思わず「はぁん」なんて
甘い声が出ちゃった

私の膣内が
パンパンになって
いるわ

今日はすごい
お●んちん
硬くて大きい…

当たり前じゃないか

こんな状況で興奮しないわけがないさ

ぐちゅ

ぐちょ

ぐちょ

あぁん

ぐちゃ

さっさと終わらせないと人がきちゃうから一気にイくよ

きなさい…

床にこぼれるといけないから膣内に残らず全部射精すのよ

ぱんぱんぱんぱん

あっ あっ あっ あっ あっ あっ あっ あっ あっ

うおおお 戦場ケ原に中出しい

ドピュ

あ…!!

ビクッビクッビクッ

はあああああ

ビクーッビクーッ

ブピッ

ポッ

あぁ…今日も気持ち良かったぁ

阿良々木くん…

なんだい戦場ケ原

15

観られちゃったみたい……

ガヤガヤガヤ

!?

今日のデートは
結果だけいうと
楽しかった

あの後は
色々とあったが

あえて愉しめた
とだけ結論づけて
おこう

さっそく
家に戻ったら
今日の思い出で
オナニーでもして
寝ようっと

こんばんわ
阿良々木くん

羽川？

今日は何か
僕と会う予定
だったかな？

ううん
予定は
ないよ

でも
今から会う
約束をしよっか

先日
僕は羽川をフッた

それが お互いの
関係性に決着が
ついたことが起因して
いるのかもしれない

突然の
羽川の訪問だが
今日の僕はなぜか
驚くどころか

そこに羽川がいることに
何の抵抗も感じない

そして羽川が
僕の部屋にいても
それを問題と
認識していないのだ

ん？…あぁ
よくわからない
けどわかった

それでも
僕は羽川を
おかずに
オナニーも
しているが

それはそれ
これはこれ
ＴＰＯって
やつだ

あのね
阿良々木くん

セックスしよ

ニコッ

!!?

どうしたんだ…
いきなり羽川が
こんなことを
言うなんて…

ドキ ドキ

ブラック
羽川？

何を言ってるのか
わかってるのか？羽川

私ね…
阿良々木くんに
フラれて自分の思う
とおり人間らしく
生きようと思ったの

だから
阿良々木くんは
私のことなんか
好きにならなく
てもいいよ

だけど私は阿良々木くんが
好きだからセックスするの

一瞬
ブラック羽川かと
思ったが…違う

ゴクン

これは野生の
本能が芽生えた
メスの羽川翼だ

おちんちん出してくれるかな阿良々木くん

えっ…あっ

こういうのを夜這いっていうんだろうね

普通夜這いというのは男性の方から女性にたいして行う行為だと思うが…

そういうのを考えるのはどうでもよくなってきた

あの羽川が僕のちんぽを舐めている

どれだけ妄想でしてもらったことか…

全然ぎこちないがあの羽川の顔をみているだけで

僕のチ●ポはギンギンだ

ぺろ

ぺろ

んぺろ

ぺろっ

気持ちいいかな？

う…うん…うぐっ

良かったら私のも触ってくれるかな

は…羽川…

もう我慢できない

羽川のおっぱいしゃぶりたい

羽川のおま●こ舐めまわしたい

す…すごい格好だね…んっ

ニチュニチュ

ジュル

ジュル

ジュル

あんっ

お願い
阿良々木くん

もう…
我慢できないよ

ヒクヒク

気が済むまで
思いっきり
お●んちんを
挿入れて

羽川が
変わっても
俺は何も
変わらないと
約束したんだ

野生の羽川も
受け入れよう
じゃないか
阿良々木暦

ああ…

ぐにぐに

ズブズブ

あ…

すっごく
大きいよ

阿良々木くんが
挿入ってきてる

大好き

してぇ

とっても気持ちいいよ阿良々木くん

ズリ

ズリ

もっとして

21

この感じている表情…見覚えがあるような…

んっ

だから阿良々木くんも気持ちよくなってくれると嬉しいな

はっ!?

ズルッ

あっ あっ あっ あっ

僕は羽川とセックスしたのははじめてじゃない

僕の童貞喪失は羽川の処女喪失の時だ

ビチャ

ビチャ

思い出すのに時間がかかったが僕は春ごろに羽川とセックスしてる

僕達…前にも…

ピト

私は阿良々木くんのおちんちんで思いっきり膣内で射精して欲しいだけ

もっと激しくできるはずだよ

ぬちゅ!! ぬちゅ!! ぬちゅ!! ぬちゅ!!

阿良々木くん

何も言わなくていいんだよ

エロすぎだろ羽川っ

あんっ

ちゃう

ビュル

うおおおおおおおおお！

ビクッ

ビクッ

ビクッ

おあああああ

はっ…羽川ぁ！

阿良々木くんの精子いっぱいきたぁ

はぁ

まったく…
羽川とのセックスは
最高だ…

はぁ

ガチャ

ぜ……

阿良々木くん

せっ
戦場ヶ原!?

どう考えても
言い訳できない

どうしよ
どうしよ…

頭が真っ白だ
あああああ…

何度も電話したのに
出なかったので
直接押しかけました

私の電話を
無視するほど
大変だったようね

ニヘェ〜

ハーハー

暴力の欲求は満たしたわ

ふう…

ガヤガヤ

ガヤガヤ

ガヤガヤ

うん
そうだよね

戦場ヶ原さんだけ
除け者にしちゃう
なんてことでき
ないよ…だから

一緒に
しよっか♥

さすが
羽川さん

優しすぎて
惚れちゃいそう

ほらほら
はやくヤろうよぉ

今日二度目の
おま●こくぱぁ

ドキドキ

もうセックスすることだけ考えよう

はあっ

ああ…見られちゃってる

というか頭の中は目の前の二人の裸で埋め尽くされている状態だ

挿入ってるとこよく見えてるぞ戦場ケ原

もっと…あんっ見てぇ

あんっ…昼間よりもっと激しい…

こんな阿良々木くんはじめて…はぁん

俺も気持ちいいぞ戦場ケ原ア

ビクッ ビクッ

このまま永遠に
突いて突いて
突きまくって

ああ

ビクッ ビクッ

イきっぱなしの
私のオ●ンコを
刺激しまくってぇ

ビクッ ビクッ

おっぱい揉んで
ベロチューして
オ●ンコの中
ぐちゅぐちゅにかき回して

はっ はっ はっ はっ

クチュ クチュ

ビクッ
ビクンッ
あぁぁぁんはぁ
射精るぅ
戦場ケ原あ！
ドク
ドクドク
ビクッ
ビクンッ
ビクッ
ビクンッ
ビクッ
ビクンッ

はぁん♡
はねかわひゃんと
せっ…くひゅ…はっ
せんじょう…
かひやりゃひゃん
あっ♡
どちゅ
どちゅ
どちゅ
はぁん♡
うぉぉぉ
はねかわしゃん♡
あん♡
ぜんじょうがわしゃん…♡
あっ
はっ
んっ
んっ
んっ
んっ
あっ
三人のがぁ♡
こす…れてる…
キュン♡
あらぎくんのおちんちんがぁ♡
もうダメだぁ
あああっ…イクッ
ズチュ
ズチュ
ズチュ
ズチュ
くちゅ
くちゅ
ズチュ
ズチュ
ズチュ
ズチュ

おおぉ♥

羽川わぁあああっ!!

戦場ケ原ぁあああっ!!

復チ。

発行日　2013　12/31　発行元　サークル:青い点(青点)
URL http://aotenmultiverse.com　印刷　ねこのしっぽ

SCANNED BY CAPTCARISMA